

大牟田市健康福祉推進会議 第4回会議の委員意見等

※委員意見書により書面で提出された意見と、資料説明の際に担当職員へ口頭で出された意見を掲載しています。

1. 市民意見募集（パブリックコメント）の結果と対応について

■意見書の結果

案のとおりで良い…24人

見直すべき箇所がある…1人、1件（●の意見）

- パブリックコメントの件数が少ないように思う。PRは出来ているが、本編の内容が幅広いので、コメントの仕方が難しいのではないかと。
- 2件の意見が反映されたのはいいこと。
- 提出された意見[P1]「障害の構成要素としての機能的要素、社会的要素、本人の認識の要素」とは、一般的に使うフレーズなのか。
- 提出された意見[P2]「介護人材不足は…」について、第1章6に加筆となっているが、対策として、『働きやすい職場づくり』『働きがいや研修の実施』としている。これだけでは、これまでと変わらないのではないかと。P113にある『福祉・介護人材の育成・確保』における内容と整合性をもたせてはどうか。
- 提出された意見[P2]「介護人材不足は…」について、人材の育成、確保を進めていくことは必要だと思うが、一方でそもそも働く人が減少している中で、ITやロボットのようなものを活用する方法を模索するなどの人材の必要数を減らす視点もあっていいと思う。
- 提出された意見[P2]「介護人材不足は…」について、潜在されている介護関連資格の発掘とありましたが、以前資格をとっていても、働こうとすると高度な知識が求められるので、なかなか難しいと思う。介護者を現在かかえているので、金銭的なことや介護施設の問題や働き手不足など大変だと実感している。
- 主な修正箇所[P2]「P102 これから考えたい取組み」について、「新たな感染症への対応」の加筆はとても重要なことだったと思います。
- 主な修正箇所[P3]「P114 これから考えたい取組み」について、介護や障害に関わらず、職員が足りないという話はよく聞く。自分もだが、農業をしている知り合いに話を聞くと、みんな何かしらのメリットを感じて農業を始めている。それが収入であれ何であれ、どこかにメリットがないとなかなか始められないし続かない。「働きやすい職場づくりへの支援」が新しく追記されているが、このような支援を行うことで職員は大事にされていると感じ

じることができるし、とても大事な支援であると思う。

2. 別冊（障害福祉編、介護保険編）について

■意見書の結果

案のとおりで良い… 21人

見直すべき箇所がある… 4人、15件

【両方】

- 障害福祉編＝障害福祉計画・障害児福祉計画、介護保険編＝介護保険事業計画と誤解されないか。本編部分含め、個別計画であることを説明しなくてよいか。
- 障害福祉編と介護保険編は、サービス量が記載されている。「サービス」という言葉を別冊のタイトルに記載するとわかりやすい。
- 同じ別冊なので、体裁は共通の方がいいと思います。

【障害福祉編】

- 第5期計画の実績が記載されていることで、成果目標に向けての考え方がわかるのでいいと思います。
- **P2** 「1 計画の位置付け」は図式化できないか。わかりにくい。
- **P3** 「2 計画期間」について、該当する第6期、第2期の令和3～5年度の図形を強調してはどうか？
- **P4～7** 「考え方」の語尾について、「設定しました」「設定します」の2種類ある。「設定しています」に統一した方がよいのではないか。
- **P4** 「(1) 施設入所者の地域生活への移行」について、地域生活への移行を理想とすることはわかるが、実際はグループホームのスタッフが不足しており、この課題を解決しないと移行が進んでいかないのではないか。
- **P4** 「②令和元年度末と比較した施設入所者の減少数」について、「市の成果目標値4人」となっているが、前期（第5期）の実績値が11人である中で今期の目標値を4人としている。
同様に、**P6** 「③主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所」の「市の成果目標」値各1か所となっているが、令和元年度末実績値が2か所である中で今期の目標値を各1か所としている。上記のいずれも目標値を実績値が上回っており、今期の目標設定値として適切であるか判断し辛い。仮に今期の目標値として改めて設定すべき根拠や考え方があるならばそれを示してほしい。
- **P4** 「(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」内「市の

成果目標」について、国の基本指針では、「平均生活日数を 316 日以上とする。」と記載がなされている。そのため、把握可能であれば、平均生活日数の具体的目標を記載してみてもいいでしょうか。

- **P 4** 「(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について、「第 5 期計画期間の実績」がない。実績がない又は把握が難しく実績値が載せられないなら、その旨を記載しては？
- **P 6** 「(5) 障害児支援の提供体制の整備等」について、①で児童発達支援センターとあるが、「はぐはぐ Oomuta」のことか？
- **P 6** 「(5) 障害児支援の提供体制の整備等」について、児童発達支援センターが「りんどう学園」にあると知っている人はなかなかいないのではないかな。児童発達支援センターは、お母さんたちが相談できる場所になっていないと思う。専門医がいるような施設・病院が必要ではないか。大牟田市では、専門医が子どもの発達障害を看ってくれる病院がない。たとえば、5 歳児検診等を実施して、専門医が早期発見してくれると助かる。大牟田市には「はぐはぐ Oomuta」があるので、そこで気付いて、つないでいければいいのだが。
- **P 6** 「(5) 障害児支援の提供体制の整備等」では、「参考」として令和元年度実績値が掲載されている。障害福祉と障害者福祉の違いなのかもしれないが、(1)～(4)までの実績値の書き方とどちらかに統一しては。
- **P 7** 「④医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置」について、「令和元年度末実績値」は「子ども支援部会設置」となっている。「部会」という表記から推測すると何らかの協議会等に設けられた部会と考えられる。何という組織に設けられた部会か明記されたい。
- **P 7** 「(7) 障害サービス等の質の向上を図るための取組みに係る体制の構築【新規】」について、国の基本方針は「体制を構築する」とあるが、審査支払等システム（どういうシステム？）の審査結果を分析し、集団指導することが体制構築となるのかわからない。
- **P 9** 以降について、「訪問系サービス」「日中活動系サービス」など区別がつかず、障害福祉全般の用語がわかりにくい。
- **P 9** 以降について、「現状量は足りているので今後質の確保に努めます。」のような事業はないのでしょうか？
- **P 9～28** 見込み量確保のための方策、難しいとは思いますができればもう少し具体的な方策があるといいと思います。また見込み量確保とは現在足りてないから増やすというイメージを受けるのですがその理解でいいのでしょうか？
- **P 10** 第 5 期の見込量と実績及び第 6 期の見込量の表に、重度障害者等包括支援の項目があるが、全国にやっていないところが多い。大牟田市もないため、削除した方がいいではないか。

- **P 2 2** 「(2) 意思疎通支援事業」について、この事業に関しては第 5 期の見込量に対して実績が非常に低いのでその理由が知りたいです。見込み違いなのか提供体制不備なのか、制度の周知が足りてないのか。それによって方策も変わると思いますので。
- **P 2 5～2 6** 「(7) 訪問入浴サービス事業」の第 6 期計画の見込量で「実施事業者数が 4」となっているが、いいのか。
- **P 2 7** 「(9) 社会参加促進事業」「(10) 奉仕員養成研修事業」【見込量確保のための方策】の箇所に、コロナ等の理由のため、実績値が低くなっているという記載を追加してはどうか。
- 特別支援学校との連携はあるのか。もしあるのであれば、連携の内容を記載してはどうか。
- 関連している仕事をしているため内容がわかるが、専門外の人が見たときにはわかりにくい。

【介護保険編】

- 保険料を払っているのでサービスを使うべきという人もいるが、いかにサービスを使わないように健康に過ごすのが大事。
- 説明を聞くと、確実に高齢化が進んでいるという気がする。
- サロンや訪問活動等が、コロナの影響により難しくなっているが、ICTを活用する機会にもなっていると思う。「大牟田だからこそ」というのは難しいかもしれないが、たとえば企業の実証実験の場として大牟田を活用してもらい、ICTの活用が広がれば、「高齢者が住みやすいまち」という意識は高まるのではないか。
- 要介護等認定者数や介護給付費等の実績が、第 7 期の推計よりも低くなっていることについて、介護予防のおかげと言えるのだろうか。今後、詳しくデータ分析をしていくことで要因が見えてくる部分もあるのではないか。
- **P 5** 「第 1 章 2. 計画期間」について、第 8 期計画の図形を強調しては？
- **P 1 7** フォントサイズがここだけ他と比較してとても小さいのが気になります。表のタイトルだけでもフォントサイズを他と統一してはどうでしょうか。
- **P 1 4** 「(1) 人口推計と実績」、**P 1 5** 「(2) 要介護等認定者数の推計と実績」、**P 1 6～1 7** 「(3) 介護保険事業費見込額と実績」の推計値と実績値の並びを障害福祉編と揃えた方がいいのではないか。
- **P 2 0、P 2 2、P 2 3** の 30 年度、元年度、2 年度に実績値のみ記載されているが、障害福祉編のように目標値も記載しておくとうわかりやすいのではないか。
- **P 2 8** 「(3) 地域密着型サービス」について、表に示している整備目標値

の具体的数も記載したほうが分かりやすいと思います。また、表中、小規模多機能未整備の小学校区の該当セルを強調してもいいと思います。

3. その他

- 本編P 1 7の下、上部の文字切れ
- 本編P 1 6 9の下のグラフの番号の整列と上部の文字切れ、及びグラフ項目の言葉切れ
- 本編P 1 8 6下部の表の文字のにじみ
- 本編P 2 0 4～2 2 3「1 小学校区別の状況」の文字の大きさ。見えにくいのではないかと。

- 本編P 8 1「3 圏域の設定」について、「住民の身近な圏域」における様々な活動の環境整備等を行うが求められている。」とあるが、どの圏域を「住民の身近な圏域」と設定したのか、介護保険の日常生活圏域と同様に示す必要があるのでは。又は、2段落目を削除すべきではないか。
- 本編P 1 2 9「主な事業」内「生活支援体制整備事業」の修正について、修正後では実施主体の記載がないが、市社会福祉協議会と地域包括支援センターに配置している生活支援コーディネーターが担っていることを記載した方がいいのではないかと。
- 今回資料がよくまとめてあると思いました。只、地域包括支援センターの諸問題が複雑化して人数が足りてないという状況の中で包括センターのあり方を検討していただけると地域、校区も関わり方がもっと助かるかと感じています。
- 福祉や介護、保育士などのなり手が少ないと目にすることがあります。原因は業務の大変さの割に低い収入にあると思います。現金支給などは難しいと思いますが、JAの支所にて米と交換できるフードチケットの配布などは可能ではないでしょうか。大牟田市ならではの先進的な取組みが始まることを望みます。
- 【資料4-1】「令和元年度地域ケア会議における地域課題について」もご準備いただきありがとうございました。多職種の連携の中で、各々の立場でご議論いただいていることがよくわかりましたし、そこで浮かび上がった課題をお示しいただいたことで、とても勉強になりました。
- 【資料4-1】判断能力があるが、介護度の高い人や身体障害者の預貯金管理など対応可能な支援がない部分の支援策を考えていく必要があると思います。
- 【資料4-1】社協のキャロットサービスも人手不足で中々支援につながら

ない状況。地域で向こう三軒両隣りの精神での助け合いが必要。(天の原校区では地域版キャロットサービスを実践中)

- 主な修正箇所P3「P114 これから考えたい取組み」について、「働きやすい職場づくりへの支援」を加筆いただきましてありがとうございました。職員の皆様方もお元気でお仕事をしていただけたら本当に素晴らしい計画になると思います。
- 子ども達のための概要版は、今後作成されるのか？
- FM八女では、福祉関係の人が10分の番組をやっている。みんなで集まらない時期ではあるが、集まれなくてもひとりではなく、みんなで一緒に何かをする、ということができれば。
- 会議の手法として、学会等はウェブやハイブリット(混在)になっており、会議の場に行かなくてもよくなっている。会議の頻度が多いのであれば、そのような会議の開催の仕方を考えてもいいのではないか。
- データ分析等、手伝える部分は手伝っていききたい。
- 本計画により、大牟田市民の健康、福祉が向上することを期待しています。
- 教育委員会やJAと交流の場がほしい。食育は生きていく上で大切な部門です。今、学校教育でも取り入れて学習も力を入れています。幼・小学生の頃からしっかり学び食生活の大切さを知ってほしい。
- 周囲の困っている人に話を聞くと、行政に相談はしているがその後につながっていない。本人がうまく話し切れていないのかもしれないが、「その人が自分らしく生きる」ためのマネジメントができる人(社会福祉士などの人材)がいたらいいと思う。
- 保健センターになったが、新型コロナウイルス対応など大牟田市として対応は円滑ですか？